

釜ヶ崎解放?

全国日雇労働組合協議会
釜ヶ崎支部 釜ヶ崎日雇労働組合

電話 06-632-4273

4.21 宝塚生きつめ事故 糾弾!

手抜き工事に居直った7.3工事

再開弾効! 弾効集会に結集しよう!

明日よる7じ〜 西成市民館3かい(四角公園) 向かい

仲間たち!

4月21日、宝塚市の長尾山公園での雨水排水管の埋設工事における、手抜き工事によって2名の死にいたった仲間が生きつめになつて死亡させられた事件に対する、宝塚市と市橋組への「責任追及・真相究明・安全対策改革」の闘いは、三月月になろうとしてゐる。

宝塚市は、いっその事故責任に居直り、事故の真相も安全対策の改善も明らかにならないまま、7月3日、宝塚署ホリの「実況見聞」と称してユニホを導入し、工事再開を強行したのだ。これはまさに、「手抜き工事」によつて労働者が死んでも、工事さえ進めばよいと宣言したことには他ならない。

また、市橋組や徳山組は、自らの手抜き工事によつて労働者を死なせたながら、遺族に対して「金さんは現場頭だったから、すべての工事は彼の指示でやった。金さんに過失がある。補償は

やれる範囲でやる。無理難題は困る」と、言いはなつてゐるのだ。事故のとき、元請、市橋組の監督も、徳山組の社長も現場に居あわせながらだ。しかも、徳山の社長は、7月10日西宮市署によつて、「危険防止されていないところに労働者を入れさせた」ということで、書類送検された。

仲間たち! 手抜き工事によつて労働者を殺しながら、死んだ労働者にすべての責任をひかぶせようとする市橋徳山、そして「工事さえ進めば労働者が死んでも関係ない」とする宝塚市を、ぜったいにゆるさない。

6/29 工事再開、重機搬入阻止の闘い
7/6 工事再開弾効斗争につづき、7/13 工事再開弾効集会に結集し、遺族の決起とかたく団結して、7月後半集中斗争に駆けつけよう。

激発する「労災事故」という名での日雇い殺しをゆるすな!